

ダグラス X. アレキサンダー 国際会長

ダグラス X. アレキサンダー（米国ニューヨーク州ブルックリン）は、2021年6月25日から29日にかけて開催されたライオンズクラブ国際協会の第103回国際大会で、同協会の国際会長に選出された。

アレキサンダー会長は、JP モルガン・チェース銀行の元副会長で、現在は引退している。

1984年にブルックリン・ベッドフォード・ストゥイベサント・ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、副地区ガバナー、地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、DGEグループリーダーなど、協会内で数多くの役職を歴任してきた。また、ライオンズアイバンクの運搬員、地区及び複合地区元地区ガバナー連合会のメンバー、ニューヨーク州及びバミューダ・ライオンズ財団の理事を務めたほか、2012～2014年にはユニセフ・ニューヨークのライオンズ代表に任命された。米国/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラム計画委員会およびホスト委員会に参加し、いくつかの米国/カナダ・フォーラムにおいてプレゼンターも務めている。

協会への貢献が認められ、クラブ・ライオン・オブ・ザ・イヤー、クラブ会長賞、ロバート J. アップリンガー奉仕賞、複数の地区ガバナー感謝アワード、複合地区会員増強賞など、数々の賞を受賞している。また、多くの国際会長感謝状、7回の国際会長賞、そして国際協会より会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞も贈られている。Dr. フランクリン G. メイソン・フェロー、W. P. ウッズ・フェロー、プログレッシブ・メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動に加え、専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体で活躍しており、ニューヨーク・アーバン・リーグの諮問委員会の委員長、聖フランシス・デサレスろう学校の理事を務めたほか、連邦議会議事録賞も受賞している。

アレキサンダー会長には2人の娘がおり、奉仕のパートナーであるシャビキ・カザボン は、プログレッシブ・メルビン・ジョーンズ・フェローのライオンである。